

社会	第2学年	1年間の学習内容とねらい
----	------	--------------

社会科の目標		学 習 内 容	学 習 の ね ら い
(1) 広い視野に立って、社会に対する関心を高める。 (2) 資料に基づいて多面的、多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深める。 (3) 公民としての基礎的教養を養い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。	一 学 期	《地理》 ○世界からみた日本のすがた ・世界から見た日本の人口 ・世界から見た日本の資源・エネルギーと産業	・世界の諸地域の自然環境、産業、生活、文化、歴史的背景などの特色から、地域の基礎的・基本的な知識を身につける。 ・ <u>調査結果の分析や調査結果の発表</u> の学習活動を通して、地理情報の適切な処理方法や地理的技能を身につける。 ・世界的視野から日本の人口と人口密度、少子高齢化の課題を理解するとともに、国内の人口分布、過疎・過密問題を取り上げ、日本の人口に関する特色を大観する。 ・世界的視野から日本の資源・エネルギー消費の現状を理解するとともに、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題を取り上げ、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を大観する。
	二 学 期	《歴史》 ○近世の日本 ・ヨーロッパ人との出会いと全国統一 ・江戸幕府の成立と鎖国 ・産業の発達と幕府政治の動き 《地理》 ○日本の諸地域 ・九州地方 ・中国・四国地方 ・近畿地方 ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方 ○身近な地域の調査	・ヨーロッパ人の来航の背景を、新航路の開拓を中心に理解し、鉄砲とキリスト教の伝来が日本に与えた影響を考える。 ・江戸幕府の成立の経緯と政治制度のあらまし、幕府による大名や朝廷の統制政策を理解する。 ・身近な地域の特色を生かした事例を選んで、農業をはじめとする諸産業の発達の様子を理解し、それらが発達した理由を考える。 ・日本の諸地域の地域的特色をとらえるとともに、そこで学んだことを基にして広い視野から日本全体の地域的特色に気づく。 ・地域の特色である事象を、他の事象と関連づけて考察することを通して、地理的な見方や考え方を育む。 ・縮尺の大きな地図や写真などを活用し、土地利用、地形などを読み取り、身近な地域でみられる様々な地理的事象に気づく。
	三 学 期	《歴史》 ○開国と近代日本の歩み ・欧米の進出と日本の開国 ・明治維新 ・日清・日露戦争と近代産業	・欧米諸国のアジア進出を近代革命、産業革命、アジア諸国の動きなどを通して理解する。 ・明治新政府の諸改革の特色を考える。 ・日本で近代産業が発展したことを、大陸との関係や国内外の反応、韓国の植民地化などから理解する。
評価の観点・方法			
【評価の観点】 社会科では、次の4つの観点で目標がどれだけ達成されたかにより、評価します。 ①社会的事象への関心・意欲・態度 ・社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、よりよい社会を考え自覚を持って責任を果たそうとする。 ②社会的な思考・判断・表現 ・社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的。多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 ③資料活用 の技能 ・社会的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 ④社会的事象についての知識・理解 ・社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身につけている。 A：十分満足できる B：おおむね満足できる C：努力を要する 【評価の方法】 ☆定期テスト ☆作品・レポート・ノート ☆授業の活動・態度 ☆自己評価 等活用して評価します			
特色ある学習方法			
☆本校社会科では ①興味関心のある課題を設定し、主体的な学習を促す学習指導を行っています。 ②生徒が主体となるような多様な学習形態を工夫しています。 ③新聞作り、レポート作成、調査活動などを取り入れ、生徒の個性伸長を図ります。			